

## ステップ 2-1 / 基本 5 文型-動詞・助動詞・否定を使いこなす

### 基本 5 文型-話の基本骨格

- 1 第 1 文型 / S+V
- 2 第 3 文型 / S+V+O
- 3 第 4 文型 / S+V+O+O
- 4 第 2 文型 / S+V+C
- 5 第 5 文型 / S+V+O+C

基本 5 文型は、話の基本骨格として第 1 文型から第 5 文型の構文を理解すると共に、  
📖にて基本 5 文型にかかわる構文・語法の種類を確認します。

組み合わせ順序は、目的語にかかわる第 1 文型・第 3 文型・第 4 文型、そして補語にかかわる第 2 文型・第 5 文型としています。

## 1 第 1 文型 / S+V

「**主語 + 自動詞**」は、主語と自動詞だけで意味が完全になり、目的語をとらない文型です。自動詞の後には、文の内容に応じて、場所・方向・重量・距離・時間・様態などの修飾語が来ます。

### 自動詞

arrive(到着する), go(行く), come(来る), run(走る), depart(出発する), fall(落ちる), sit(座る), sleep(寝る), appear(現れる), disappear(消える), die(死ぬ), remain(残る), happen(起こる), ache(痛む), bleed(出血する), blush(赤面する), faint(卒倒・気絶する), cough (咳をする), cry (叫ぶ・泣く), laugh (笑う), など

鳥は 飛ぶ

**Birds fly.**

📖 主語 + 自動詞

その店は 開く 10 時に←

**The store opens at ten o'clock.**

📖 主語 + 自動詞 + 修飾語

その雨は 続いた 一週間←

**The rain lasted for a week.**

📖 主語 + 自動詞 + 修飾語

これらの花は 育つ 寒い国で←

**These flowers grow in the cold countries.**

📖 主語 + 自動詞 + 修飾語

## NOTE

自動詞には、副詞を伴うもの、前置詞を伴う連語タイプのもの、二つの前置詞句をとるものもあります。

私の車が<sup>8</sup> 故障しました 昨日←

**My car broke down yesterday.**

📖 副詞を伴うもの

NOTE: break out(突発する・起こる)

look out(気をつける)

run away(逃げる)

get along(うまくやっていく)

stand out(目立つ), など<sup>9</sup>

ジョンは 話しています 彼の心配事を 今←

**John is talking of his trouble now.**

📖 前置詞を伴う連語タイプのもの

NOTE: comply with(応じる・従う)

consent to(同意する・承諾する)

prepare for(準備する・用意する)

plan for(計画を立てる)

fail in, at(失敗する)

proceed to(移る・進む), など

ケン は 討論した 悠太と 政治について←

**Ken argued with Yuta about politics.**

📖 二つの前置詞句をとるもの

NOTE: compete with~for... (...ために~と競争する・張り合う)

speak to~on, about... (...について~に演説・講演する)

agree with~on, about... (...について~に同意・賛成する)

disagree with~on, about... (...について~と意見が合わない)

negotiate with~on, about... (...について~と交渉・協議する), など

## 2 第3文型／S+V+O

「主語+他動詞+目的語」は、他動詞の対象となる目的語をとる文型です。  
目的語になる構文・語法の種類は、各例文の📖にて確認してください。

### 他動詞

build(建てる), buy(買う), catch(捕まえる), carry(運ぶ), destroy(破壊する), cut(切る), use(使う), sell(売る), feel(感じる), hear(聞く), smell(嗅ぐ), touch(触る), enjoy(楽しむ), fear(恐れる), hate(嫌う), love(愛する), like(好む), believe(信じる), discuss(議論する), expect(期待する), forget(忘れる), blame(責める), など

何を←1 しますか 悠太は ～学ぶ 学校で←2

**What does Yuta learn at school?**

📖 目的語は、疑問代名詞 🗨️ P24

祖父は ～楽しんだ 旅行することを 東南アジアに←

**My grandfather enjoyed traveling in South East Asia.**

📖 目的語は、動名詞 🗨️ P77

息子は ～決心した になることを 料理人←

**My son decided to become a cook.**

📖 目的語は、to 不定詞 🗨️ P80

リサは ～知らなかった どう書くのかを この申告書を←

**Lisa didn't know how to write this application form.**

📖 目的語は、疑問詞+to 不定詞 🗨️ P82

私は ～知りたい (のは)何かを 娘が ～してしまった←

**I want to know what my daughter has done.**

📖 目的語は、名詞節の疑問詞用法 🗨️ P129

兄は ～するつもりです ところのことを 彼が することができる←

**My older brother will do what he can do.**

📖 目的語は、名詞節の関係代名詞 what 用法 🗨️ P130

## NOTE

他動詞には、変動・分離・固定タイプの副詞を伴うもの、前置詞を伴う成句タイプのもの、副詞と前置詞を伴うもの、成句になるものもあります。

夫は **～消した** その燃えているたいまつを←

**My husband put out the burning torch.**

📖 変動タイプの副詞を伴うもの

私たちは **～見送った** 彼を 駅で←

**We saw him off at the station.**

📖 分離タイプの副詞を伴うもの

車は **～上げた** スピードを 突然に←

**The car picked up speed suddenly.**

📖 固定タイプの副詞を伴うもの

NOTE: call off(中止する), put off(延期する), など

妹は **～似ています** 母に←

**My younger sister takes after our mother.**

📖 前置詞を伴う成句タイプのもの

NOTE: deal with(扱う), look for(探す), wait on(仕える), など

祖母は **～じつと我慢した** 振る舞いを その男の←

**My grandmother put up with the behavior of the man.**

📖 副詞と前置詞を伴うもの

NOTE: come up with(思いつく), look up to(尊敬する), など

ジョンは **～利用した** この機会を 昇進の←

**John took advantage of this opportunity of the promotion.**

📖 成句になるもの

NOTE: catch sight of(見つける), make room for(場所をあける)  
pay attention to(注意する), take care of(世話する), など

### 3 第4文型／S+V+O+O

「主語+動詞+間接目的語(誰に)+直接目的語(何を)」は、他動詞の対象となる2つの目的語をとる文型です。

直接目的語(何を)になる構文・語法の種類は、各例文の📖にて確認してください。

#### 二つの目的語をとる他動詞

give(与える), hand(渡す), lend(貸す), send(送る), show(見せる), teach(教える), tell(話す), buy(買う), get(手に入れる), make(作る), cook(料理する), find(見つける), order(注文する), ask(たずねる), など

私は ~与えた 親友に 一冊の本を←

**I gave a close friend one book.**

📖 直接目的語は、普通名詞 🗨️P60

私は ~借りている 悠太に 10ドルを←

**I borrow Yuta ten dollars.**

📖 直接目的語は、普通名詞 🗨️P60

私は ~頼んだ 彼らに 来ることを 早く←

**I asked them to come early.**

📖 直接目的語は、to不定詞 🗨️P80

私は ~告げた 叔父に どこへ行くのかを←

**I told my uncle where to go.**

📖 直接目的語は、疑問詞+to不定詞 🗨️P82

私は ~言うつもりです 叔母に ということを 私は お金がない←

**I will tell my aunt that I have no money.**

📖 直接目的語は、名詞節のthat用法 🗨️P126

~教えなさい 私に かどうかを ケンが 住んでいる この家に←

**Teach me if Ken lives in this house.**

📖 直接目的語は、名詞節のwhether, if用法 🗨️P128

## NOTE

### ◆ 間接目的語(誰に)を直接目的語(何を)の後ろに置く場合

間接目的語(誰に)に **to** か **for** を用いますが、**ask** は例外で **of** を用いる

#### **to** を用いる動詞／相手に何かをもたらす動詞

give(与える), hand(渡す), lend(貸す), send(送る), show(見せる), teach(教える), tell(話す), など

#### **for** を用いる動詞／相手のために何かをする動詞

buy(買う), get(手に入れる), make(作る), cook(料理する), find(見つける), order(注文する), など

#### **of** を用いる動詞／ask(たずねる)

母は ～見せた アルバムを おばさんに←

My mother **showed** her album **to** my aunt.

父は ～買った 素適な腕時計を おじさんのために←

My father **bought** a nice watch **for** my uncle.

姉は ～たずねた 携帯電話番号を 私の←

My older sister **asked** the cell-phone number **of** me.

### ◆ 直接目的語が代名詞 it などの場合は必ずこの形になる

ジョンは 与えた それを 私に←

John **gave it to** me.

### ◆ 目的語を 2 つ続けることが出来ない動詞

say(言う), explain(説明する), suggest(提案する), introduce(紹介する) など

悠太は 説明した ルールを 野球の ジョンに←

Yuta **explained** the rules of baseball **to** John.

## 4 第2文型／S+V+C

「主語+動詞+補語」は、主語を説明する(主格)補語をとる文型です。  
(主格)補語になる語法の種類は、各例文の📖にて確認してください。

### 第2文型に使われる動詞

#### ◆ どのような状態にあるかを表す動詞

be(である), keep(ままている), lie(置かれている), remain(ままである), stay(とどまる), など

#### ◆ どのような状態になるかを表す動詞

become, get, go, come, turn, など

#### ◆ どのような性質なのかを感覚的に表す動詞

feel(感じる), sound(聞こえる), look(見える), smell(臭いがする), taste(味がする), など

#### ◆ どのように思われるかを表す動詞

seem(ように思える・であるらしい), appear(ように見える), など

悠太は です 速いランナー←

**Yuta is a fast runner.**

📖 補語の普通名詞が、主語を説明している

NOTE: He runs very fast. (彼は 走る 非常に速く)

副詞 very fast の「しぐさ」に対して、補語の a fast runner は「本質」を表し強いインパクトを与えます。

その子供は ままだった 黙った 一日中←

**The child kept silent all day.**

📖 補語の形容詞が、主語を説明している

このハーブは 香りがする あまい←

**This herb smells sweet.**

📖 補語の形容詞が、主語を説明している

肉は (に)なった 悪い(状態) 暑い天気の中で←

**Meat goes bad in the hot weather.**

📖 補語の形容詞が、主語を説明している

夢は 彼女の結婚の (に)なった 本当の(状態)←

**The dream of her marriage has come true.**

📖 補語の形容詞が、主語を説明している

リサは (に)なった 青ざめた(状態) そのニュースで←

**Lisa turned pale at the news.**

📖 補語の形容詞が、主語を説明している

その少年は ように思える だった 病気の(状態)←

**That boy seems to have been ill.**

📖 補語の形容詞が、主語を説明している

エリは 来た 走りながら 部屋の中に←

**Eri came running into the room.**

📖 補語の現在分詞が、主語を説明している

少年達は (状態で)座っていた 囲まれている 少女達に←

**Boys sat surrounded by girls.**

📖 補語の過去分詞が、主語を説明している

## 5 第5文型／S+V+O+C

「主語+動詞+目的語+補語」は、目的語を説明する(目的格)補語をとる文型です。  
(目的格)補語になる語法の種類は、各例文の📖にて確認してください。

### 第5文型に使われる動詞

#### ◆ 名前や役職などについて述べる動詞

name(名づける), call(呼ぶ), choose(選ぶ), など

#### ◆ 認識を述べる動詞

think(思う), find(わかる), believe(信じる), consider(考える), など

#### ◆ 状態について述べる動詞

make(なる), get(する), keep(保つ), leave(まましておく), など

#### ◆ 知覚動詞

see(見る), hear(聞く), feel(感じる), find(見つける), notice(気づく), observe(気づく), watch(見守る), など

#### ◆ 使役動詞

make(させる), let(させてください), have(させる・してもらう), など

私は (と)名づけた その赤ん坊に 悠太←

I named **the baby Yuta.**

📖 補語の名詞が目的語を説明して、「その赤ん坊に悠太」と一体になる

私は (と)わかった 彼が 親切的な(性格)←

I found **him kind.**

📖 補語の形容詞が目的語を説明して、「彼が親切的な(性格)」と一体になる

私は (に)した その部屋を 温かい(状況)←

I made **the room warm**.

📖 補語の形容詞が目的語を説明して、「その部屋を温かい(状況)」と一体になる

私は ままにした 彼らが 待っている 外に←

I left **them waiting** outside.

📖 補語の現在分詞が目的語を説明して、「彼らが待っている」と一体になる

私は (の)に気づいた 私の姿が 見られている 遠くから←

I noticed **my figure seen** from a distance.

📖 補語の過去分詞が目的語を説明して、「私の姿が見られている」と一体になる

しましたか あなたは ~(の)を見る 選手たちが 泳ぐ←

Did you see **the players swim**?

📖 補語の原形不定詞が目的語を説明して、「選手たちが泳ぐ」と一体になる

何が~か ~させた あなたに 思う そのように←

What **made you think** so?

📖 補語の原形不定詞が目的語を説明して、「あなたに思う」と一体になり、使役動詞と共に「あなたに思わせた」となる

私は ~してもらった 髪を 切る←

I **had my hair cut**.

📖 補語の原形不定詞が目的語を説明して、「髪を切る」と一体になり、使役動詞と共に「髪を切ってもらった」となる

しますか あなたは (と)信じる 彼女が 正直である←

Do you believe **her to be honest**?

📖 補語の to 不定詞が目的語を説明して、「彼女が正直である」と一体になる

## 動詞・助動詞・否定

### 1 動詞

#### 1-1 時制

- a 現在
- b 過去
- c 未来

#### 1-2 進行形

- a 現在進行形
- b 過去進行形
- c 未来進行形

#### 1-3 完了形

- a 現在完了形
- b 現在完了進行形
- c 過去完了形
- d 過去完了進行形
- e 未来完了形

#### 1-4 受動態

NOTE 注意すべき受動態

### 2 助動詞

#### 2-1 can

#### 2-2 may

#### 2-3 must

#### 2-4 would

#### 2-5 should

#### 2-6 ought to

#### 2-7 used to

#### 2-8 need

### 3 否定

#### 3-1 否定 not

#### 3-2 否定 never

#### 3-3 部分否定

#### 3-4 準否定

#### 3-5 全体否定

#### 3-6 強い否定を表す

#### 3-7 二重否定

## 1 動詞

動詞は主語の状態・動作を述べるもので、時制(現在・過去・未来)・進行形・完了形があります。

### 1-1 時制

#### a 現在

悠太は **住んでいます** 日本に←

**Yuta lives in Japan.**

📖 現在の状態

ケン**は** **来ています** 公園に **歩いて**←

**Ken comes to the park on foot.**

📖 現在の動作

私は **いつも** **寝ます** 早く←

**I always go to bed early.**

📖 現在の習慣的な動作

NOTE: 反復を表す always, usually, often などを伴うことがあります。

水は **沸騰します** 摂氏 100 度で←

**Water boils at 100 degrees Celsius.**

📖 一般的事実

地球は **回っています** 太陽の周りを←

**The earth goes around the sun.**

📖 一般的真理

私は **出発します** 博多を 東京に向けて **明日の朝**←

**I leave Hakata for Tokyo tomorrow morning.**

📖 未来の確実な予定を表す現在時制

NOTE: その他、arrive, come, go, など

**時に** 私が **到着する** 東京に←1、私は 電話をするつもりです リサに←2

**When I get to Tokyo, I will call Lisa up.**

📖 従属節に用いられる時を表す現在時制

**もし~ならば** (それは) **雨が降る** 明日←1、私は とどまるでしょう 家に←2

**If it rains tomorrow, I will stay at home.**

📖 従属節に用いられる条件を表す現在時制

## b 過去

私は **好んだ** 漫画を 大いに 子供の頃に←

**I liked comics very much in childhood.**

📖 過去の状態を表す

私は **~会った** 悠太に 昨日←

**I met Yuta yesterday.**

📖 過去の動作を表す

ジョンは **訪問した** この村を 昨年←

**John visited this village last year.**

📖 過去の経験を表す

私は **よく 行ったものだ** ゴルフ練習場に 休日に←

**I would often go to the golf practice range on holidays.**

📖 過去の習慣的な動作を表す

NOTE: 反復を表す often, usually, wheneverなどを伴うことがあります。

## c 未来

ケン は なるだろう 20 歳に 来年 ←

**Ken will be twenty years old next year.**

📖 単純未来 / will + 原形動詞「～するだろう」は、主語の意志を含まない

だろうか 彼は 来る ここに 明日 ←

**Will he come here tomorrow?**

📖 単純未来、疑問文 / will + 主語 + 原形動詞「～するだろうか」

ジョン は するつもりです なんでも 私のために ←

**John will do anything for me.**

📖 意志未来 / will + 原形動詞「～するつもりです」は、主語の意志になる

私は いるつもりはない この事務所に 長い間 ←

**I will not stay in this office for a long time.**

📖 意志未来、否定文 / will + not + 原形動詞「～するつもりはない」

我々は ～することになっています サッカーを 午後 ←

**We are going to play soccer in the afternoon.**

📖 be going to + 原形動詞「～することになっている」という意味を表す

NOTE: will, shall の代わりに広く未来を表すのに用いられます。

しませんか あなたは 見に行く 映画を 私と ←

**Will you go to see a movie with me?**

📖 疑問文 / Will you ~ は、誘い「～しませんか」を表す

してくれませんか あなたは 弾く ピアノを 私のために ←

**Will you play the piano for me?**

📖 疑問文 / Will you ~ は、依頼「～してくれませんか」を表す

しましょうか 私は ～手伝う あなたの仕事を 今から ←

**Shall I help your job from now?**

📖 疑問文 / Shall I ~ は、話し相手の意志「～しましょうか」を尋ねる

## 1-2 進行形

### a 現在進行形

リサは 来ているところです ここに 今←

Lisa **is coming** here now.

📖 現在進行していることを表す / is (am, are) + ~ing

### b 過去進行形

時に エリが 来た 私の家に←1、私は ~して遊んでいました ゲームを←2

When Eri came to my house, I **was playing** games.

📖 過去において進行していたことを表す / was(were) + ~ing

### c 未来進行形

悠太は ~しているだろう 野球を この時間に 明日←

Yuta **will be playing** baseball at this time tomorrow.

📖 未来において進行していることを表す / will be + ~ing

## 1-3 完了形

### a 現在完了形

現在完了形は「have(has)+過去分詞」で表し、過去の事実が現在に及ぼしている結果を含めて述べる用法で「完了・結果・経験・継続」の4つがあります。

否定文は「have(has) not+過去分詞」、疑問文は「Have(Has)+主語+過去分詞～?」の形になります。

私は ちょうど ~（今）終えたところです 自分の仕事を←

I **have just finished** my work.

📖 (今)～したところで「継続していたことが完了したことを表す

NOTE: just(ちょうど), now(今), already(もう), yet(もう、まだ)などの副詞を伴う。

しまいましたか あなたは ~書いて 手紙を 英語の もう←

**Have you written** a letter in English yet?

📖 (もう)～してしまいましたか「継続していたことが完了したことを表す

飛行機は 到着しました(今ここにいる) 成田空港に←

The airplane **has arrived** at Narita Airport.

📖 ~してしまった(今は～だ)「過去の出来事が現在に何らかの結果を残していること」を表す

どこで←1 しまったか(今はない) あなたは ~失して カメラを←2

Where **have you lost** your camera?

📖 ~してしまったか(今は～だ)「過去の出来事が現在に何らかの結果を残していること」を表す

私は しばしば (今までに)話したことがあります 外国人と 駅で←

I **have often spoken** with foreigners at the station.

📖 (今までに)～したことがある「継続してきた過去の経験」を表す

NOTE: often(しばしば), ever(これまでに), once(一度), never(かつて～ない), before(以前), -times(～度)などの副詞を伴う。

私は ~(かつて)訪れたことはありません カナダを←

I **have never visited** Canada.

📖 (かつて)～したことがない「過去の経験がないこと」を表す

ケンはずっと)病気にかかっています 先週以来←

Ken **has been sick** since last week.

📖 (ずっと)～している「過去のある時から今も継続していること」を表す

NOTE: since(以来), for(の間), always(いつも), How long～(どれくらい～)などの期間を表す語を伴う。

私たちは (ずっと)住んでいる この町に 10 年間←

We **have lived** in this town for ten years.

📖 (ずっと)～している「過去のある時から今も継続している期間」を表す

どれくらい←1 いますか 悠太は 討論して ケンと 政治について←2

How long **has Yuta argued** with Ken about politics?

📖 (どれくらい)～していますか「過去のある時から今も継続している期間」を表す

## b 現在完了進行形

「今までずっと～している」という意味で、過去のある時点で起こった動作が現在まで続いていることを表します／have(has) been+～ing

(それは) **ずっと雨が降り続けています** 2時間←

It **has been raining** for two hours.

## c 過去完了形

過去のある時を基準にして、その時よりも前に起こった動作・状態の「完了・結果・経験・継続」を表します／had+過去分詞

時に 私が **～電話した** 悠太に←1、悠太は **すでに～出発してしまっていた** 家を←2

When I **called** Yuta up, **Yuta had already left** home.

📖 **完了**「(その時)～したところだった」、**結果**「(その時には)～してしまっていた」、**経験**「(その時まで)～したことがあった」、**継続**「(その時まで)ずっと～であった」

## d 過去完了進行形

「その時までずっと～していた」という意味で、過去のある時を基準にして、その時よりも前に起こった動作が過去のある時まで継続していたことを表します／had been+～ing

時に (それは) **始めた** 雨が降り←1、ジョンは **魚釣りをしていた** 1時間←2

When it **began to rain**, John **had been fishing** for an hour.

## e 未来完了形

未来のある時点を基準にして、その時までの「完了・結果・経験・継続」を表します／will have+過去分詞

ケン **は～読んでしまっているだろう** 2冊目の小説を 来年までには←

Ken **will have read** the second novel by next year.

📖 **完了・結果**「(その時まで)～してしまっているだろう」、**経験**「(その時まで)～したことになるだろう」、**継続**「(その時まで)ずっと～していただろう」

## 1-4 受動態

受動態は、動作を受ける側を主体にした文です。

受動態にするには、能動態の文「主語+他動詞+目的語」の目的語を主語にして、他動詞を「be 動詞+過去分詞」に変えて、主語を by~の形にして文末におきます。

その犬は **好かれている** 小さな子供たちに←

**The dog is liked by little children.**

📖 現在形／be 動詞+過去分詞+by~

このエンジンは **修理されていない** 整備技術者たちによって←

**This engine is not repaired by maintenance technicians.**

📖 否定文／be 動詞+not+過去分詞+by~

ケン は **尊敬されていた** みんなに←

**Ken was respected by everyone.**

📖 過去形／was(were)+過去分詞+by~

悠太は **招待されるだろう** パーティーに マリによって←

**Yuta will be invited to the party by Mari.**

📖 未来形／will be+過去分詞+by~

その歌は **歌われています** お年寄りたちによって←

**The song is being sung by the elderly.**

📖 現在進行形／be 動詞+being+過去分詞+by~

数学は **選択されなければならない** 全ての生徒に←

**Mathematics must be taken by all students.**

📖 助動詞／助動詞+be+過去分詞+by~

その窓は **壊されてしまった** 悪い人達によって←

**The window has been broken by bad guys.**

📖 現在完了形／have(has)+been+過去分詞+by~

ましたか そのボールは 蹴られ キーパーによって←

**Was the ball kicked by a goalkeeper?**

📖 疑問文／be 動詞+主語+過去分詞 + by～

いつ←1 ましたか その試合が 始められ 彼らによって←2

**When was the match started by them?**

📖 疑問詞疑問文／疑問詞+be 動詞+主語+過去分詞 + by～

## NOTE 注意すべき受動態

- ◆ 感情・心理の表現は、日本語では能動態ですが、英語では受動態を 사용합니다  
be surprised at～に驚く, be shocked at～にショックを受ける  
be pleased with～に喜ぶ, be satisfied with～に満足する  
be interested in～に興味がある, be disappointed in～に失望する, など
- ◆ by 以外の前置詞を用いる受動態は、in, with, of などがあります  
be engaged in～に従事する, be covered with～で覆われる  
be filled with～で満たされる, be made of～から作られる, など
- ◆ 「動詞+副詞・前置詞」は、そのまま受動態にします  
laugh at～を笑う／be laughed at～  
agree to～同意する／be agreed to～  
carry out～を実行する／be carried out～, など
- ◆ 「動詞+副詞+前置詞」は、そのまま受動態にします  
take care of～の世話をする／be taken care of～  
look down on～を軽べつする／be looked down on～  
look up to～を尊敬する／be looked up to～  
make fun of～をからかう／be made fun of～, など

## 2 助動詞

助動詞は動詞に新たな意味を付け加える表現で、原形動詞の前に置かれます。

### 2-1 can

「can+原形動詞」で、能力・可能「～することができる」、推量「はたして～だろうか・～のはずがない」、許可「～してもよい」、丁寧「～していただけませんか」などを表します。未来時制と完了形では、can の代わりに be able to を用います。

私は 話すことが出来る 英語を 流暢に←

**I can speak English fluently.**

📖 能力・可能を表す

時に 私が 若かった←1、私は 走ることが出来た より速く←2

**When I was young, I could run faster.**

📖 過去形／could+原型動詞

私は ～始めることが出来るだろう フランス語レッスンを 来年←

**I will be able to begin a French lesson next year.**

📖 未来形／will+be able to～

私は ～見つけることが出来た その絵本を 本屋さんで←

**I have been able to find the picture book in a bookstore.**

📖 現在完了形／have(has)+been able to～

はたして～だろうか その噂は である 本当←

**Can the rumor be true?**

📖 はたして～だろうか(推量を表す)

いいえ、それは であるはずがない 本当←

**No, it cannot be true.**

📖 ～のはずがない(推量の否定を表す)

してもよいか 私は ～行く 泳ぎに 今日の午後に←

**Can I go swimming this afternoon?**

📖 ～してもよいか(許可や軽い命令を表す)

～していただけますか あなたは ～教えて 私に 道を バス停への←

**Could you teach me the way to the bus stop?**

📖 ～していただけますか(Could は丁寧な言い方を表す)

## 2-2 may

「may+原形動詞」で、許可「～してもよい」、推量・可能性「～かもしれない」、祈願「～しますように」などを表します。

終わったので 君の仕事を、あなたは 行ってもよい もう←

**Finishing your job, you may go now.**

📖 ～してもよい(許可を表す)

私は ～信じないかもしれない その漠然とした物語を←

**I may not believe the vague story.**

📖 ～かもしれない(推量を表す)

私は 遅くなるかもしれない ～家に帰るのが 今晚←

**I may be late coming home this evening.**

📖 ～かもしれない(可能性を表す)

ジョンは 忘れるかもしれない 送ることを eメールを 上司に←

**John might forget to send e-mails to his boss.**

📖 (ひょっとしたら)～かもしれない(可能性の低い推量)

しますように 天皇が 生きる 長く←

**May the Emperor live long!**

📖 人・事が～しますように!(祈願を表す) / May+主語+原型動詞～!

## 2-3 must

「must+原形動詞」で、義務・必要「～しなければならない」、強い推定「～に違いない」などを表します。過去・未来時制では、must の代わりに had to, have to を用います。

あなたは 去らなければならない ここを 今日←

You **must leave** here today.

📖 ～しなければならない(義務を表す)

しなければいけませんか 私は 来る 6 時まで←

**Must I come** by six o'clock?

📖 ～しなければいけませんか(必要を表す)

あなたは ～話をしてはいけない 日本語を ここで←

You **must not speak** in Japanese here.

📖 ～してはいけない(否定形は強い禁止を表す)

あなたは しなければならなかった 何でも 一人で←

You **had to do** everything alone.

📖 must には過去時制がないので had to

ケン は ～勉強しなければならないだろう 英語を 今夜←

Ken **will have to study** English tonight.

📖 未来時制 will の場合 have to

ジョン は いるに違いない 40 を過ぎて 今←

John **must be** over forty now.

📖 ～に違いない(強い推定を表す)

悠太 は ～行ったに違いない 間違った道を←

Yuta **must have taken** the wrong road.

📖 ～したに違いない/must have+過去分詞

## 2-4 would

「would+原形動詞」で、可能性・推量「～でしょう」、過去の習慣「～したものだ」、過去の強い意志「(どうしても)～しようとした・しようとしなかった」、丁寧な現在の願望「(出来れば)～したいのですが・していただけませんか」を表します。

ので マリは 出た 2 時間前に←1、彼女は いるでしょう 家に 今←2

**As Mari left two hours ago, she would be at home now.**

📖 ～でしょう(現在の可能性・推量を表す)

時に マリが 家に帰った←1、(それは) になっていただろう 11 時←2

**When Mari came home, it would be eleven o'clock,**

📖 ～だっただろう(過去の可能性・推量を表す)

私は よく 釣りをしに行ったものだ 近くの川に 休日に←

**I would often go fishing in the river nearby on holidays.**

📖 ～したものだ(過去の習慣的動作を懐かしむように表す)

エリは (どうしても)話をしようとした 彼女の趣味について 何時間も←

**Eri would talk about her hobbies for hours.**

📖 (どうしても)～しようとした(過去の強い肯定の意志を表す)

リサは ~(どうしても)聞こうとしなかった クラシック音楽を←

**Lisa wouldn't listen to classical music.**

📖 (どうしても)～しようとしなかった(過去の強い否定の意志を表す)

私は ~(できれば)飲みたいのですが 一杯の紅茶を←

**I would like to have a cup of tea.**

📖 (できれば)～したいのですが(丁寧な現在の願望を表す)

貸していただけませんか 私に あなたのコンピューターを 今から←

**Would you lend me your computer from now?**

📖 ～していただけませんか(丁寧な現在の願望を表す)

## 2-5 should

「should+原形動詞」で、義務・当然「～すべきである」、可能性・推量「たぶん～のはずだ」、意外・驚き・怒りの感情「～するなんて・するとは、いったい～か・どのようにして～か・どうして～か」を表します。

あなたは **持つべきです** たくさんの本を 歴史に関する←

You **should have** lots of books on history.

📖 ～すべきです(義務・当然)

ので エリは いる 急いで←1、彼女は **たぶん着くはずだ** 事務所に 1 時間内に←

As Eri is in a hurry, she **should get** to the office in an hour.

📖 たぶん～のはずだ(可能性・推量)

マリは 驚いている 悠太が **～するなんて** そのようなことを←

Mari is surprised **that Yuta should do** such a thing.

📖 ～するなんて(意外な感情)

(それは) である 当然 あなたが **～憎むとは** 彼を←

It is natural **that you should hate** him.

📖 ～するとは(怒りの感情)

いったい誰が～か いる そこに そのような時間に←

**Who should** be there such a time?

📖 いったい誰が～か(意外な感情)

どのようにして～か リサが 知った そのことについて←

**How should** Lisa know about that?

📖 どのようにして～か(驚きの感情)

どうして～か 彼らは してしまった そのように←

**Why should** they have done so?

📖 どうして～か(怒りの感情)

## 2-6 ought to

「ought to+原形動詞」で、義務「～すべきだ」・当然「～はずだ」を表します。

あなたは **～読むべきである** 英文を 声に出して←

**You ought to read English sentences at loud.**

📖 ～すべきである(義務を表し、must より意味が弱く、should より意味が強い)

ケン **は 到着しているはずだ** パリに 今ごろは←

**Ken ought to have arrived in Paris by now.**

📖 ～しているはずだ(当然を表す)

## 2-7 used to

「used to+原形動詞」で、過去の状態「**以前は～だった**」、過去の習慣「**以前は、よく～していた**」を表します。

ケン **は 以前住んでいた** 大阪に←

**Ken used to live in Osaka.**

📖 以前は～だった(過去の一時期の状態、今はしていない)

私は **よく行ったものです** 仕事に バスで←

**I used to go to work by bus.**

📖 以前はよく～していた(過去の一時期の習慣で、今はその習慣はない)

## 2-8 need

「need+原形動詞」は、否定文・疑問文で「**～する必要はない・あるか**」を表します。

ケン **は 心配する必要はありません** 悠太について←

**Ken need not worry about Yuta.**

📖 動詞 need は、「～を必要とする」・「する必要はある need+to 不定詞」を表します。

## 3 否定

### 3-1 否定 not

否定 not は、副詞で「～でない」を表します。

(それは) **ないです** 寒く 今日←

**It isn't cold today.**

📖 be 動詞 / is not = isn't

彼は **～持っていない** どんな友達も←

**He has not any friends.**

📖 have, has / have not = haven't, has not = hasn't

NOTE: 「(単に)～を持っていない」は通常 no が使われます。

He has no friends.

悠太は **ないつもりです** 行く 東京へ 明日←

**Yuta will not go to Tokyo tomorrow.**

📖 助動詞 will / will not = won't

ケン **ことがどうしてもできない** ～する ゴルフを 豪雨の中では←

**Ken cannot play golf in the heavy rain.**

📖 助動詞 can / can not = can't or cannot

NOTE: 強調「～どうしてもできない」は、cannot とします。

悠太は **べきではない** 言う 上位の人に対して そのように←

**Yuta ought not to say to a superior person like that.**

📖 助動詞 ought to / ought not to (ought は常に to を伴う)

彼は **ないだろう** 罰せられる 証拠なしに←

**He will not be punished without evidence.**

📖 助動詞 will + 受動態 / will not be + 過去分詞

マリは べきではなかった してしまう それを 友人のために←

Mari **should not have done** it for a friend.

📖 助動詞 should+現在完了 / should not have+過去分詞

リサは ~覚えている 止まらなかったことを この場所に←

Lisa remembers **not stopping** at this place.

📖 動名詞 / not+~ing

彼女は ~告げた 私に 行かないことを←2、まで 私が 落ち着く←1

She told me **not to go out** until I calmed down.

📖 to 不定詞 / not to+原形動詞

知らないので←1、エリは 答えなかった 彼女のことについて←2

**Not knowing**, Eri did not answer about her.

📖 分詞構文 / Not+~ing

ジョンは ~思いません ということを 悠太が 来るだろう パーティーに←

John **does not think** that Yuta will come to the party.

📖 否定は主節に置き、従属節は肯定文にする

ケンは です 日本人 ではなく オーストラリア人←

Ken is Japanese, **not Australian**.

📖 単語を否定する

ジョンは 出身です カナダの ではなく 合衆国の出身←

John is from Canada, **not from the United States**.

📖 句を否定する

彼女は 愛している 彼を←1、

からではなく 彼が である ハンサム←2、からだ 彼が 持っている 温かい心を←3

She likes him,

**not because** he is handsome, but because he has warm hearted.

📖 節を否定する

### 3-2 否定 never

否定 never は副詞で、not より強い否定の「決して～しない」を表します。

私達は 決して働かない 週末には←

**We never work on weekends.**

📖 現在の習慣「never+原形動詞」は、強調だけではなく状態が不特定期間に及ぶ

ケン は 一度もしなかった 間違いを 実験において←

**Ken never made a mistake in an experiment.**

📖 過去の習慣「never+過去形」は、「一度も～しなかった」と強調的になる

彼らが 決して知ることはないだろう 話を 裏の←

**They will never know the story of the back.**

📖 未来形「will never+原形動詞」は、「～することは決してないだろう」と強調的になる

私は 信じている 決して繰り返さないことを その間違いを←

**I believe never to repeat the mistake.**

📖 to 不定詞「never+to 不定詞」は、「決して～しないこと」と強調的になる

悠太は これまで起こしたことが決してない どんな問題も←

**Yuta has never caused any problems.**

📖 完了形「have(has)+never+過去分詞」は、「これまで～したことが決してない」と強調的になる

悠太は 決してない これまで起こしたことが どんな問題も←

**Yuta never has caused any problems.**

📖 never を強調するために、have(has)の前におくことがある

決してない 悠太は これまで起こしたことが どんな問題も←

**Never has Yuta caused any problems.**

📖 never を強調するために、文頭に置いて倒置をする

### 3-3 部分否定

全ての子供達が～のではない だった 満足した(状態) おもちゃに←

**Not all the children** were satisfied with the toys.

📖 全ての...は・が～のではない／not all...～

男は誰でもが～のではない なることができる そのような偉大な人に←

**Not every man** can be such a great person.

📖 ...は誰でもが～のではない／not every...～

それらは 両方良いのではない プレゼントとして 両親への←

**They are not both good** as presents to parents.

📖 両方～のではない／be 動詞+not both+形容詞

今日、お年寄りが 必ずしも幸福なのではない 世の中において インフレの←

**Today, the old are not always happy** in the world of the inflation.

📖 必ずしも～のではない／be 動詞+not always+形容詞

### 3-4 準否定

私は ～ほとんど聞くことができなかった 彼らの会話を 外で←

**I could hardly hear** their conversation outside.

📖 ほとんど～することが出来ない(出来なかった)／can(could)+hardly～

その先生は ～めったにしない 間違いを 計算において←

**The teacher seldom makes** a mistake in a calculation.

📖 めったに～しない／seldom(rarely)～

### 3-5 全体否定

誰もいない ~ 解くことが出来る この問題を←

**No one** can solve this problem.

📖 誰もいない / No one ~

私は 誰一人知らない これらの女性達の←

**I know none of** these ladies.

📖 誰一人 ~ ない / none of ~

リサの意見は です 何でもない 私にとって←

**Lisa's opinion is nothing** to me.

📖 何でもない / nothing ~

### 3-6 強い否定を表す

雲一つなかった 空に←

**There was not a cloud** in the sky.

📖 a の特殊位置により強調を表す / not+a+名詞

(それは) です 決して冗談どころではない←

**It is no joke.**

📖 強調を表す / no+名詞

### 3-7 二重否定

彼らは 決して会わない けんかをする事なしに←

**They never meet without** quarreling.

📖 二重否定は肯定的な意味になる / never ~ without...

ケン は ではない ~ 好まない ~ 手助けすることを 私を←

**Ken is not unwilling** to help me.

📖 二重否定は肯定的な意味になる / be not unwilling ~